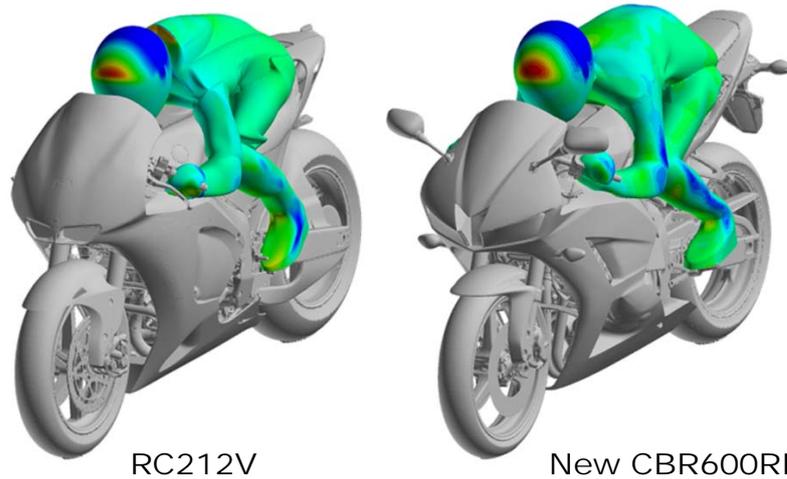


エアロダイナミクス

CBR600RR

MotoGP で 2011 年に 3 冠を獲得した『RC212V』の空力性能を継承し、従来モデルの CBR600RR から通常ポジションで CD 値-6.5%、レーシングポジションで CD 値-5.0%の低減を達成しました。

CBR600RR の潜在能力を極限まで高めるとともに、燃費向上にも寄与しています。



さらに、CBR600RR は保安部品を装着した状態で、RC212V 同等以上のヨーならびにロールモーメントを追求。特にコーナリング時、車体の回頭性を重視することを目標にヨーモーメントは他に類を見ないほど低減させています。

この解析結果はレースベース車両へのフィードバックへと繋がっています。

